

システム導入計画作業一覧

●:作業主体 ○:作業支援

項番	大項目	中項目	小項目	詳細	国保連合会	クラウドベンダ	市町村	市町村側ベンダ			備考	
								既存ベンダ	他システムベンダ	導入ベンダ		
1.1.1.1	1. 準備	1. 導入移行要件の整理	1. 導入の前提事項の整理	導入形態の整理 (自庁設置/ハウジング/クラウド化)	●		●					
1.1.1.2				導入対象サブシステムの整理 (①給付システムの導入と国保連合会への委託について検討、②保険料(税)収納システムの導入と現行消込処理の継続利用について検討)	●		●					
1.1.2.1			2. 非機能要件の整理	データ移行要件の整理 (①導入するサブシステムごとにデータ移行対象期間を検討、②データ移行作業を実施する環境を検討、③データ移行作業のベンダ役割の切り分けを検討)			●	●				
1.1.2.2				セキュリティ要件の整理 (NW、持出し、ワクチン など)	●		●					
1.1.2.3				サービスレベル要件の整理 (SLA(可用性、稼働監視、許容停止時間 など)、MTD(許容停止時間)、稼働時間の設定)	●							
1.1.2.4				障害・災害対策要件の整理 (BCP(事業継続性)、耐障害性(冗長化構成) など)	●							
1.1.3.1			3. 業務要件の整理	機能のフィット・ギャップ (①現行システムと標準システムの機能の比較・対応付け、②差異を整理し外付開発対象・帳票定義修正対象の整理)				●	●		●	
1.1.3.2				他システム連携の整理 (必要な連携対象の確認、相手側改修の要否の確認)			●	●	●	●		
1.1.3.3				帳票の外部委託範囲の整理 (アウトソーシング)				●				
1.1.3.4				テスト環境の構築可否の整理(税正改正などが発生した場合のテスト環境の必要性など検討)	●							
1.1.3.5				納付書の運用方針の整理(保険料(税)収納システムの導入有無および新納付書を標準システムで作成するか、現行システム機能で利用するかを検討し、それにより外付開発機能・現行システム改修の有無を整理)			●		●		●	
1.2.1.1			2. 導入ベンダの選定・調達	1. 導入ベンダの選定・調達	導入ベンダの作業範囲、導入ベンダ決定方針、などの検討				●			
1.2.1.2					導入ベンダ調達仕様書の作成(調達条件の確定、作業範囲)、調達				●			
1.2.2.1				2. クラウドベンダの選定・調達	クラウドベンダの作業範囲、クラウドベンダ決定方針、などの検討	●						
1.2.2.2					クラウドベンダ調達仕様書の作成(調達条件の確定、作業範囲)、調達	●						
1.3.1.1	3. 機器・設備の計画	1. ネットワーク構成の決定	庁内ネットワーク調査 (他システム(連携先)のNW構成図を準備)	○		●						
1.3.1.2			ネットワーク構成設計	○		●			●			
1.3.1.3			ネットワーク機器の選定 調達する機器を選定	○		●			●			
1.3.2.1		2. ネットワーク構成の決定 (クラウド)	クラウドネットワーク調査 (他システム(連携先)のNW構成図を準備)	●		○			○			
1.3.2.2			ネットワーク構成設計	●		○			○			
1.3.2.3			ネットワーク機器の選定 調達する機器を選定	●		○			○			
1.3.3.1		3. ハードウェア/ソフトウェアの選定	ハードウェア選定 (サーバ性能、ディスク容量、RAID構成、テスト環境、予備機器)		●	○						
1.3.3.2				ハードウェア選定 (業務端末、プリンタ)			●			●		
1.3.3.3			ソフトウェア選定 (必須OS、ミドルウェア(バックアップソフトウェア、システム監視ソフトウェア、ウイルス対策ソフトウェア、仮想化ソフトウェア))	●	●					前提ミドルウェア以外はクラウドベンダにて選定する。		
1.3.3.4			ハードウェア保守・ソフトウェアサポート選定	●	○							
1.3.4.1		4. 環境設計書(物理設計)の作成	4. 環境設計書(物理設計)の作成	設備設計(物理設計) 機器構成図(ラック構成図、ラック搭載機器仕様一覧、など)の作成	○	●				●		
1.3.5.1				5. 設置場所の確保	設置場所の確保(稼働用、導入一時用) システム化計画、調達機器を基に条件を整理し(強度、耐震性、室温維持、電源、保守スペース、並行稼働など)、導入後の環境に必要な機器を設置する場所の確保(ネットワーク機器、プリンタ、業務端末、移行データ管理サーバ、データ編集用端末、移行チェック結果出力用端末など) フロア配置図(設備レイアウト図)の作成			●			●	
1.3.6.1	6. 設置場所の確保 (クラウド)	設置場所の確保(稼働用、導入一時用) システム化計画、調達機器を基に条件を整理し(強度、耐震性、室温維持、電源、保守スペース、並行稼働など)、導入後の環境に必要な機器を設置する場所の確保(ラック、サーバ群、ネットワーク機器、運用管理端末、運用管理端末、ヘルプデスク端末 など) フロア配置図(設備レイアウト図)の作成		●	○							
1.4.1.1			4. 機器調達	1. 機器調達	機器調達の範囲、調達時期などの検討	●		●				
1.4.1.2	機器調達仕様書の作成(調達条件の確定、作業範囲)、調達	●				●						
1.5.1.1	5. 導入・移行事前検討	1. データ移行方針の検討と決定	標準移行ツールの入手方法の確認			●	●					
1.5.1.2			データ移行作業全般のスケジュール決定	○	○	●	●		●			
1.5.1.3			データ抽出ツールの作成方針の決定(標準システムと現行システムとのデータ項目の対比を実施し、データ抽出ツールの設計方針、チェックリストの作成方針、データ抽出ツールの作成方針およびテスト方針を決定)			○	●					
1.5.1.4			文字コード変換方式の決定(標準移行ツール取込用ファイルの仕様を確認して現行システムの文字の仕様と差異があった場合は、必要に応じてデータ抽出ツールにおける文字コードの変換方式を決定)			○	●					
1.5.1.5			トータルチェック方針の検討(導入したサブシステムにあわせて実施対象のチェック項目を決定)			●	●			●		
1.5.1.6			システム切替パターン検討における判断項目の決定			●	●			●		
1.5.1.7			データ移行環境構築 (現行マスタ抽出結果の取り込み/移行ファイル抽出環境準備/各移行データの格納テーブル作成/標準移行ツールの実行環境準備)				●			●		
1.5.2.1		2. 他システム連携に関する検討と決定	他システム連携に関する作業全般のスケジュールを決定			○	●	●	●			
1.5.2.2			他システム連携の連携情報ごとにレイアウトの確認(過不足項目は連携先システムと調整して対応方針を決定)			●	●	●				
1.5.2.3			他システム連携の連携情報ごとに連携方式の決定(ファイル連携方式、SOAP連携方式、L/FDB方式)(連携情報ごとに、サイクル(疑似リアル、日次、月次、随時))				●	●	●			
1.5.2.4	文字コード変換が必要な連携の洗い出しとコード変換方式の検討					●	●	●				
1.5.2.5	他システム側との調整(標準システムと連携する他システムごとに調整すべき内容を整理してシステム側担当者と調整)				●	○	○	○				

項番	大項目	中項目	小項目	詳細	国保連合会	クラウド ベンダ	市町村	市町村側ベンダ			備考	
								既存 ベンダ	他システム ベンダ	導入 ベンダ		
1.5.3.1	3. システム運用方針の検討と決定			システム運用範囲の検討 (既存環境上に構築する場合、既存環境との運用上境界の検討/運用作業委託の調達仕様書要件の検討 など)			●			● (※1)		
1.5.3.2				現行のシステム運用の方針および方式・方法の適用可否範囲を検討			●			● (※1)		
1.5.3.3				標準システムのシステム運用を行うために、運用項目を整理して決定			●				● (※1)	
1.5.3.4				各システム運用項目に対して、要件を検討			●				● (※1)	
1.5.3.5				標準システムの運用体制(通常の運用体制、障害時の運用体制)を検討			●				● (※1)	
2.1.1.1	2. 環境構築	1. ハードウェアの設置および確認	1. 設置場所準備	サーバ機器を設置するために必要な準備作業(電源工事、ネットワーク工事など)	●							
2.1.2.1			2. 機器設置	調達する機器(サーバ、ネットワーク機器(サーバスイッチ)、ストレージ装置など)の設置		●						
2.1.3.1			3. 結線	調達する機器の電源ケーブル、ネットワークケーブルなどの結線		●						
2.2.1.1		2. 構築作業準備	1. パラメータ設定シートの作成	OS・ミドルウェアのパラメータ検討ならびに設定シート作成			●					
2.2.2.1			2. 機器構築資材の準備	環境構築に必要な資材の準備	●	○						
2.2.3.1			3. サーバ周辺機器、ネットワーク機器の設定	サーバ周辺機器(RAID構成、共有ストレージ装置)の設定		●						
2.3.1.1		3. 標準システムサーバ環境構築	1. 運用管理サーバ構築	運用管理サーバの構築			●					
2.3.2.1			2. DBサーバ構築	DBサーバの構築			●					
2.3.3.1			3. Web/APサーバ構築	Web/APサーバの構築			●					
2.3.4.1			4. バッチサーバ構築	バッチサーバの構築			●					
2.3.5.1			5. プリンタサーバ構築	プリンタサーバの構築			●					
2.3.6.1			6. OS・ミドルウェアのインストール	サーバOSのインストール ミドルウェアのインストール			●					
2.4.1.1		4. 業務端末環境構築	1. 業務端末設定	標準システム利用に必要な環境設定を実施						●		
2.5.1.1		5. その他の設定	1. 業務端末設定	サーバ周辺機器(プリンタ、など)や、ネットワーク機器(ファイアウォール装置、負荷分散装置)の設定						●		
2.5.2.1			2. 業務端末設定(クラウド)	調達する機器のサーバ周辺機器(バックアップ装置など)や、ネットワーク機器(サーバスイッチ)の設定		●						
3.1.1.1	3. 標準システムの構築	1. 構築作業準備	1. 構築作業準備	標準システムの資材、運用スケジュール、各種パラメータ設定シート等を標準システムの構築に必要な資材および前工程からの成果物を準備			○			●		
3.2.1.1		2. 構築作業準備	1. 構築作業準備(クラウド)	標準システムの資材、運用スケジュール、各種パラメータ設定シート等を標準システムの構築に必要な資材および前工程からの成果物を準備		●						
3.3.1.1		3. 環境構築	1. 標準システムのサーバ環境構築	各サーバ(DBサーバ、Web/APサーバ、バッチサーバ、プリンタサーバ)に対して標準システムをインストール		●						
3.3.2.1			2. 業務端末の環境構築	業務端末に対し、Adobe Readerや外字ファイル等を設定						●		
3.4.1.1		4. 設定	1. 初期設定	初期設定の各情報を標準システムに登録		●						
3.4.2.1			2. 業務の設定	業務設定の各情報を標準システムに登録						●		
3.4.3.1			3. 業務の設定(クラウド)	業務設定の各情報を標準システムに登録		●						
3.5.1.1		5. 他システムの環境構築および設定	1. 他システム連携の環境構築	他システム連携環境構築ツールを使用して他システムとの連携環境を構築		●						
3.5.2.1			2. 他システム連携初期設定	運用に応じて行う初期設定を実施		●	○				○	
3.5.3.1			3. 初期データセットアップ	標準移行ツールでデータ移行が完了した後に移行情報初期データセットアップを実施(市町村個別の設定)					●		●	
3.6.1.1	6. ジョブ自動実行の設定	1. ジョブ自動実行の設定	ジョブ自動実行の設定		●							
4.1.1.1	4. データ移行	1. 移行データ準備	1. データ抽出ツールの設計	現行システム(移行元)マスタ仕様準備 (現行マスタ仕様書・レイアウト仕様書、現行マスタデータ関連図(ER図)、現行システムの文字コード表 など準備)			●	●				
4.1.1.2				現行システムマスタ・移行ファイルの項目対応付け (現行マスタと中間標準レイアウトの項目の対応付けを確認)			●	●				
4.1.1.3				移行ファイルレイアウト編集仕様設計、コード変換・編集仕様設計、不足項目の補てん仕様(初期値、編集など)設計、文字コード同定の計画			●	●				
4.1.2.1			2. データ抽出ツールの製造	データ抽出ツール作成、データ抽出ツール実行手順書作成、実行後の結果確認点検手順書 兼 チェックリスト作成 文字コード 同定の処理(類似字形探索) (外字登録/文字コード変換表作成/文字コード 変換手順書作成/結果確認手順書兼チェックリスト作成)					●			
4.1.3.1			3. データ抽出ツールのテスト	単体テスト					●			
4.1.3.2				組合せテスト					●			
4.1.4.1			4. データ抽出	データ抽出ツール、切り出したデータを変換、標準移行ツール取込用ファイル作成					●			
4.1.5.1			5. 標準移行ツール準備	標準移行ツールの環境準備(標準移行ツール(必須分・選択サブシステム)インストール/共通設定ファイル・業務設定ファイルの登録/プリンタ・端末の準備/フォントファイルのインストール など)						●		
4.1.6.1			6. データ検証(単項目チェックおよび関連項目チェック) (※2) (※3)	標準移行ツールを使用した単項目チェック、登録データ作成および関連項目チェックを実施します。						●		
4.1.7.1		7. データ抽出ツール修正およびデータ修正	検討したエラー対処の実施 (データ抽出ツールの修正(設計書修正・チェックリスト修正・ツール修正・テスト)/移行元データまたは導入一時環境のデータ修正(データバッチツール作成・テスト・バッチ実施))			●	●					
4.1.8.1		8. データ移行を繰り返し実施する場合の作業	単項目エラーがなくなるまで、データ抽出(4.1.4.1)または単項目チェック(4.1.6.1)から繰り返し実行					●		●		
4.1.9.1		9. データ提供	移行データ、他システム連携用データ			●				●		
4.2.1.1		2. 移行データ登録	1. データ登録	標準システムのデータベースへ移行データを登録						●		
4.3.1.1		3. データ登録後検証	1. データ検証(トータルチェック) (※4)	トータルチェックによるデータ検証を実施			●			●		

項番	大項目	中項目	小項目	詳細	国保連合会	クラウド ベンダ	市町村	市町村側ベンダ			備考		
								既存 ベンダ	他システム ベンダ	導入 ベンダ			
5.1.1.1	5.他システム連携修正	1.連携プログラムの設計	1.標準システムの仕様書の準備	「他システム連携仕様書 付録A.他システム連携情報一覧表」、「基本設計書」、外部機関などで公開されているレイアウトを準備						●			
5.1.2.1			2.他システムの仕様書の準備	他システム側にて、連携I/F仕様書、マスタ仕様書を準備			●	●					
5.1.3.1			3.項目対比表の作成	連携情報ごとに他システムと標準システムとのレイアウトを比較して項目対比表およびコード対比表を作成			●	●					
5.1.4.1			4.連携機能(連携プログラム)の対応方針決定	他システム側から連携する機能の改修内容に対応方針を決定 ・連携方式(ファイル連携方式、SOAP連携方式、I/FDB方式)対応設計 ・連携I/Fレイアウト設計 ・異動連携済分と連携未済分の管理機能の設計 ・障害時のリカバリ(再連携など)設計 ・連携時の起動方法(運用管理ソフト、タスクスケジューラ、サービス作成など)設計 ・文字コード変換対応設計 ・連携ファイル/データの遷移図(格納先など)作成			●	●					
5.1.5.1			5.連携機能(連携プログラム)の設計書作成	他システム側のドキュメント作成作業 ・連携I/F設計書作成 ・連携I/F業務フロー作成 ・チェックリスト(単体テスト、組合せテスト)作成 ・総合テスト(サイクルテスト含む)計画作成			●	●					
5.1.6.1			6.チェックリスト作成	実行後の結果確認点検手順書兼チェックリスト作成			●	●					
5.2.1.1		2.連携プログラムの製造	1.連携種別ごと連携I/F機能作成	連携種別ごと連携I/F機能作成					●	●			
5.2.1.2			2.連携種別ごと連携I/Fの起動機能設定	連携種別ごと連携I/Fの起動機能設定					●	●			
5.2.1.3			3.連携種別ごと連携I/F実行手順書作成	連携種別ごと連携I/F実行手順書作成					●	●			
5.3.1.1		3.連携プログラムのテスト	1.連携種別ごと連携I/Fのテスト	単体テスト	単体テスト				●	●			
5.3.1.2				組合せテスト	組合せテスト				●	●			
5.3.1.3				統合テスト	統合テスト					●	●		
5.3.2.1	2.セットアップ		他システムの改修機能をテスト環境へ反映					●	●				
5.3.3.1	3.連携種別ごと連携I/Fの総合テスト(標準システムインストール後)		事前バックアップ				●	●	●	●			
5.3.3.2	連携種別ごと連携I/Fの総合テスト実施/結果確認		連携種別ごと連携I/Fの総合テスト実施/結果確認				●	●	●	●			
6.1.1.1	6.開発・改修作業	1.開発・改修に関する検討	1.開発・改修に関する検討	開発・改修対象機能の整理			●			●			
6.2.1.1		2.外付開発	1.外付開発の要件定義書	前提条件(タイミング、サイクルなど)、利用目的/利用者、出力項目、編集条件などを設定			●						
6.2.2.1			2.外付開発の設計	外付開発 ・前提CSV(EUCなど)を特定 ・前提CSVの格納先、外付開発機能の格納先、外付開発使用端末、処理結果格納先を特定 ・データ関連図作成 ・処理フロー作成 ・データ編集仕様書作成 ・出力仕様書作成							●		
6.2.3.1			3.外付開発の作成	コーディング、チェックリスト作成 および机上デバッグ								●	
6.2.3.2			運用マニュアルなど作成	運用マニュアルなど作成								●	
6.2.4.1			4.外付開発のテスト	単体テスト								●	
6.2.4.2			組合せテスト	組合せテスト								●	
6.2.5.1		5.外付開発の総合テスト(標準システムインストール後)	外付開発の総合テスト実施				●				●		
6.2.5.2		外付開発の総合テスト結果確認	外付開発の総合テスト結果確認				●				●		
6.3.1.1		3.帳票定義修正	1.詳細設計書の作成	帳票レイアウト仕様書などの仕様書作成							●		
6.3.2.1			2.チェックリスト作成および単体テスト準備	チェックリストの作成および単体テストの準備(テストケース、テストデータ、テストドライバ・スタブの作成)							●		
6.3.3.1			3.作成	コーディングおよび机上デバッグ								●	
6.3.4.1	4.単体テストの実施		単体テスト								●		
7.1.1.1	7.運用設計・設定	1.システム運用設計	1.システム運用要件の確定	システム運用要件の確定(対象者/システム運用環境/運用日/運用時間/稼働監視/バックアップ/外字運用/障害・災害対策要件など)	○	●	○				○		
7.1.2.1			2.システム運用設計・設計書作成	システム運用要件を基にしたシステム運用設計(システム起動と停止/稼働監視/バックアップとリストア/バッチ運用/ログ運用/外字運用/時刻同期/名前解決/セキュリティ/自動運転など)	○	●	○					○	
7.1.3.1			3.システム運用スケジュール	システム運用スケジュールの設計				●					
7.2.1.1		2.システム運用ドキュメント作成	1.ドキュメント作成	システム運用手順書、チェックリストの作成	○	●							
7.2.1.2			各手順書の検証のため、実地テストを実施	各手順書の検証のため、実地テストを実施	○	●							
7.3.1.1		3.システム運用設定	1.システム起動・停止の設定	システム起動・停止の設定とテスト実施			●						
7.3.2.1			2.稼働監視の設定	各監視の設定(ハードウェア監視/死活監視/リソース監視/サービス監視)				●					
7.3.2.2				各稼働監視のテスト実施					●				
7.3.3.1			3.バックアップ・リストアの設定	バックアップ・リストアの設定(システム/データ/DB)				●					
7.3.3.2				各バックアップ・リストアのテスト実施					●				
7.3.4.1			4.バッチ処理の設定	バッチ処理の設定				●					
7.3.4.2				バッチ処理設定の動作確認テスト実施					●				
7.3.5.1			5.ログ管理の設定	ログ退避・削除の設定				●					
7.3.5.2				ログ退避・削除のテスト実施					●				
7.3.6.1			6.外字運用の設定	ソフトフォント作成の設定				●	○			●	
7.3.6.2				ソフトフォント作成のテスト実施					●	○		●	
7.3.7.1			7.時刻同期・名前解決の設定	時刻同期/名前解決の設定				●					
7.3.7.2				時刻同期/名前解決のテスト実施					●				
7.3.8.1	8.セキュリティ設定		サーバにセキュリティ設定				●						
7.3.8.2			ネットワーク機器にセキュリティ設定		●		●						
7.3.8.3		セキュリティ設定の動作確認(サーバ)					●						
7.3.8.4		セキュリティ設定の動作確認(ネットワーク機器)		●		●							
7.3.9.1	9.自動運転の設定	自動運転の設定				●							
7.3.9.2		自動運転の設定のテスト実施					●						

項番	大項目	中項目	小項目	詳細	国保連合会	クラウド ベンダ	市町村	市町村側ベンダ			備考		
								既存 ベンダ	他システム ベンダ	導入 ベンダ			
7.4.1.1	7. 業務運用設計	4. 業務運用設計	1. 業務運用スケジュールの検討	業務運用スケジュールの検討と設計			●			● (※1)			
7.4.2.1			2. バッチ処理の検討	バッチ処理の対象と処理方式を検討			●			● (※1)			
7.5.1.1		5. 業務運用ドキュメント作成	1. ドキュメント作成	業務運用手順書、チェックリストの作成		○	●			● (※1)			
7.5.1.2				各手順書を検証するため、実地テストを実施		○	●			● (※1)			
7.6.1.1		6. 業務運用設定	1. 業務運用パラメータ設定	業務パラメータの設定			●			● (※1)			
7.6.1.2				処理パラメータの設定			●			● (※1)			
7.6.2.1			2. 帳票設定	帳票の業務運用の検討結果を反映			●			● (※1)			
7.6.3.1			3. バッチ処理の設定	バッチ処理の対象と処理方式を検討			●			● (※1)			
7.7.1.1		7. パラメータの設計	1. システムパラメータ	システムパラメータの設計 (市町村個別設定)			●				●		
7.7.2.1				システムパラメータの設計 (クラウド)		●							
7.7.3.1				共通パラメータの設計 (市町村個別設定)			●					●	
7.7.4.1				共通パラメータの設計 (クラウド)		●							
7.7.5.1				5. 業務パラメータ	業務パラメータの設計				●				●
7.7.6.1				6. 処理パラメータ	処理パラメータの設計				●				●
8.1.1.1		8. 運用試験	1. 全体計画	1. 全体スケジュールの作成	スケジュールの作成（各市町村のマシンの使用状況、体制および他機関との調整などを考慮して運用試験全体のスケジュールを作成）	○	●	●			●		
8.1.2.1	2. 実施体制の確保			運用試験の実施体制を確保			●	●			●		
8.1.3.1	3. 各種ルールの設定			進捗管理や問題点管理など各種ルールの整備		●	●						
8.1.4.1	4. 機能確認対象の決定とチェックリスト作成			運用試験対象機能の決定およびチェックリスト作成		○	●				●		
8.2.1.1	2. 試験の種類ごとの作業計画		1. 運用試験対象の処理の選定	試験対象処理の選定				●		●	●		
8.2.2.1				2. 運用試験観点の洗い出し	試験観点の洗い出し				●		●	●	
8.2.3.1				3. 運用試験スケジュールの作成	運用試験スケジュールを作成 (市町村個別設定)				●		●	●	
8.2.4.1				4. 運用試験スケジュールの作成 (クラウド)	運用試験スケジュールを作成 (クラウド全体)		●						
8.2.5.1				5. 連携先との調整	連携先との調整（各連携先との運用試験の実施可否や日程について調整、実施できない場合は、代替環境の準備方針について検討） (市町村個別設定)				●		●	●	
8.2.6.1				6. 連携先との調整 (クラウド)	連携先との調整（各連携先との運用試験の実施可否や日程について調整、実施できない場合は、代替環境の準備方針について検討） (クラウド全体)		●						
8.2.7.1				7. 試験シナリオの作成	試験シナリオの作成				●		●	●	
8.2.8.1				8. チェックリストの作成	試験シナリオに沿って、チェックリストを作成				●		●	●	
8.2.9.1				9. 試験データの準備	試験データの準備（試験シナリオおよびチェックリスト消化のため、必要な試験データを、標準システムおよび他システムより準備）				●		●	●	
8.3.1.1	3. 運用試験前の設定作業		1. 運用試験前の設定作業	組織情報、公印情報、連携先情報などについて、必要に応じて本番環境用から運用試験環境用の設定変更を実施		○			●	●			
8.4.1.1	4. 試験の実施		1. 試験の実施	試験シナリオおよびチェックリストに沿って試験を実施 不具合が生じた場合は、問題点管理の対応手順にしたがい不具合対応を実施				●		●	●		
8.5.1.1	5. 運用試験後の設定作業	1. 運用試験後の設定作業	データベースの復元および不要ファイルの削除			●				●			
9.1.1.1	9. 研修	1. 研修の計画	1. 研修全体のスケジュール		●		●						
9.1.2.1			2. 研修の方法（座学または実機）		●	●							
9.1.3.1			3. 研修プログラム		●	●							
9.1.4.1			4. 環境の検討および準備	市町村が主体となって、市町村内の各担当者（業務利用者、システム運用者・管理者）に向けた研修の計画作成		●	●						
9.1.5.1			5. 教材の検討および準備		●	●							
9.1.6.1			6. 日程調整（会場確保、参加者調整等）		●								
9.1.7.1			7. 市町村内への開催案内		●								
9.2.1.1	2. 集合研修の実施	1. 集合研修の実施	市町村内の各担当者に対して研修を実施		●	○	●						
9.3.1.1	3. 自己研修の実施	1. 自己研修の実施	市町村内の各担当者が標準システムの環境にて操作研修を実施				●						
10.1.1.1	10. システム切替の準備	1. システム切替計画における検討	以下を検討 ・切替パターン ・作業項目 ・体制 ・全体スケジュール ・連絡ルート ・他システムとの調整			○	●			●			
10.1.2.1			2. リハーサル移行における検討	以下を検討 ・実施環境（機器）の設定 ・データチェックの対象および確認方法 ・動作検証におけるチェック観点 ・リハーサル移行スケジュール			○	●			●		
10.1.3.1			3. 本番移行における検討	以下を検討 ・データチェックの対象および確認方法 ・動作検証のチェック観点 ・本番移行スケジュール			○	●			●		
10.1.4.1			4. 追掛け入力における検討	以下を検討 ・追掛け入力の準備 ・追掛け入力を行う業務および他システム連携の範囲 ・追掛け入力方法 ・追掛け入力作業に伴うバッチ処理 ・データおよび動作検証のチェック観点 ・追掛け入力スケジュール			○	●			●		
10.1.5.1			5. 稼働前準備における検討	以下を検討 ・稼働前のチェック観点 ・稼働判定の実施時期			○	●			●		

項番	大項目	中項目	小項目	詳細	国保連合会	クラウド ベンダ	市町村	市町村側ベンダ			備考	
								既存 ベンダ	他システム ベンダ	導入 ベンダ		
10.2.1.1	10. システム切替	2. システム切替の計画	1. システム切替計画書の作成	「システム切替の準備」にて検討した内容を基にシステム切替計画書を作成			●			●		
10.2.2.1			2. スケジュールの作成	「システム切替計画書」を基にスケジュールを作成			●			●		
10.3.1.1		3. リハーサル移行	1. 事前準備	リハーサル移行前にテーブルの初期化やセットアップパラメータなどの設定情報を確認							●	
10.3.2.1			2. データ抽出	・現行システムから移行データを抽出 ・文字コード変換、標準移行ツールのインタフェースにレイアウト変換を実施				●				
10.3.3.1			3. データ検証（単項目、関連項目チェック）	データ検証（単項目チェック、関連項目チェック）の実施							●	
10.3.4.1			4. データ提供	移行データ				●			●	
10.3.5.1			5. データ登録	標準システムのデータベースへ移行データを登録							●	
10.3.6.1			6. 初期データセットアップ	他システムとの必要な情報を連携							●	
10.3.7.1			7. データ検証（トータルチェック）	データ移行後、データ検証（トータルチェック）を実施				●			●	
10.3.8.1			8. データ検証（オンライン、バッチ）	データ検証（オンライン照会、帳票発行、バッチ処理の実行）により、業務データが正常に登録されていることの確認				●			●	
10.3.9.1			9. 連携テスト	他システムとの連携テストを実施				●		○	●	
10.4.1.1		4. 本番移行	1. 事前準備	本番移行前にテーブルの初期化やセットアップパラメータなどの設定情報を確認							●	
10.4.2.1			2. データ抽出	・現行システムから移行データを抽出 ・文字コード変換、標準移行ツールのインタフェースにレイアウト変換を実施				●				
10.4.3.1			3. データ検証（単項目、関連項目チェック）	データ検証（単項目チェック、関連項目チェック）の実施							●	
10.4.4.1			4. データ提供	移行データ				●			●	
10.4.5.1			5. データ登録	標準システムのデータベースへ移行データを登録							●	
10.4.6.1			6. 初期データセットアップ	他システムとの必要な情報を連携							●	
10.4.7.1			7. データ検証（トータルチェック）	データ移行後、データ検証（トータルチェック）を実施				●			●	
10.4.8.1			8. データ検証（オンライン、バッチ）	データ検証（オンライン照会、帳票発行、バッチ処理の実行）により、業務データが正常に登録されていることの確認				●			●	
10.5.1.1		5. 追掛け入力	1. 設定確認	セットアップパラメータおよび採番値の設定が追掛け入力の設定になっていることの確認（市町村個別設定部分）							●	
10.5.2.1			2. 設定確認（クラウド）	セットアップパラメータおよび採番値の設定が追掛け入力の設定になっていることの確認（クラウド共通部分）		●						
10.5.3.1	3. 異動処理		現行システムおよび他システムにおいて異動処理を実施				●					
10.5.4.1	4. データ連携（異動分）		他システムから異動情報を連携					○	●	●		
10.5.5.1	5. 追掛け入力		現行システムで入力した内容を標準システムへ入力				●			●		
10.5.6.1	6. データ検証（追掛けチェック）		追掛け入力後、現行システムと標準システムでデータ検証（トータルチェック）を実施				●			●		
10.5.7.1	7. データ検証（オンライン、バッチ）		データ検証（オンライン照会、帳票発行、バッチ処理の実行）により、業務データが正常に登録されていることの確認				●			●		
10.6.1.1	6. 稼働前準備	1. 設定確認	本番稼働前のセットアップパラメータおよび採番値の設定が本番稼働の設定になっていることの確認（市町村個別設定部分）							●		
10.6.1.2		2. 設定確認（クラウド）	本番稼働前のセットアップパラメータおよび採番値の設定が本番稼働の設定になっていることの確認（クラウド）		●							
11.1.1.1	11. その他	1. ヘルプデスク対応	問合せの対応	問合せの対応		●						
11.1.2.1			FAQの更新	FAQの更新		●						
11.2.1.1		2. 定例会	定例会の実施	導入の進捗等の報告（進捗・課題・今後の予定等） ・各団体ごとの進捗状況確認		○	●					

※1:運用作業を委託したベンダの作業分だが、ここでは導入ベンダ=運用作業を委託したベンダと見なして記載している。
 ※2:データ検証（単項目チェック）は、サブシステムごとに工程を設定すること。
 ※3:データ検証（関連項目チェック）は、サブシステムごとに工程を設定するが、一部にサブシステム間の関連チェックがあることを留意すること。
 ※4:データ検証（トータルチェック）は、他システムからの連携データも必要となるため、運用試験工程の時期に合わせて設定すること。